



新小山市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.35

1 副院長挨拶 ～ コロナ禍の中で思うこと ～

新型コロナウイルス感染症第5波は落ち着きをみせましたが、まだ依然としてコロナ禍の終息というわけにはいきません。世界的コロナ禍の時代を迎え、わたし達の動きにも大きな変化が見られました。

その一つに、講演会や学術集会など多数の人々が集まる会合では、ウェブ開催によってそれぞれがオンラインで画面を通して講演を聴講したり、討論をしたりするようになりました。多数の参加者が、それぞれ好きな場所から会議に入室し、それぞれが個人毎に上手に時間調整をする中で集えるようになりました。

しかし、画面を通してお互いの顔は見えても、マイクを通してお互いの声は聴けても、どうしても相手の話の熱量や意志の力を体感することはできません。

非常事態宣言が解除されたため、最近、久しぶりに大切な友人と食事をする機会がありました。お互いに直接会えなかった時間を埋めるように、積もる話で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎ去っていきました。帰るころには、画面越しでは味わえないほのぼのとした温かい体感が残りました。

数多くの試練を克服して、どんなに便利な世の中になっても、やはり顔と顔を合わせての、近い距離でのお互いの気持ちを体感する付き合いは、社会において非常に重要なことと考えます。

いつ終わるかも分からないコロナ禍の暗闇の中で、たくさんの人々が孤独に陥り、心的ストレスが増大し、また先が見えない生活に困窮して、今年は自ら尊い命を落とす方が増えていると聞きます。

わたし達医療従事者は、社会の人々の『身体の健康』とともに、『心の健康』も護っていくことが使命であると思います。従来、日本の平均寿命は延びているが、健康寿命は変わっていないとされています。わたし達が、命を削って医療を頑張り続けても、時に、自身の無力感に苛まれ、先が見えずに絶望的なことさえあります。

最近人気のアニメの中で、主人公に近い重要な役どころの人物がこう言っていたのがとても印象に残っています。『己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと、心を燃やせ、歯を食いしばって前を向け』と。

先が見えない今だからこそ、人々の『身体と心の健康』を護るわたし達医療従事者が、率先して心を燃やして、歯を食いしばって前を向いて、空前絶後のコロナ禍を乗り越えていきたいと、強く心に思う今日この頃です。

令和 3年 12月

新小山市民病院 副院長・循環器内科部長 大谷 賢一



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
重点医療機関への取組 ...	3
お知らせ	4

ハイライト

- 10月に新任医師が入職いたしましたのでご紹介させていただきます。
- 12月より、時間外選定療養費を徴収することにしました。
- ホームページをリニューアルしました。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率、連携の会、小山市近郊地域連携病院総会の報告をさせていただきます。

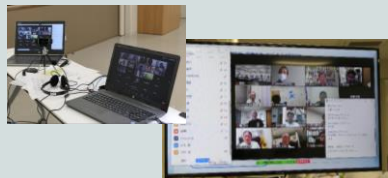
分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ～

オンライン（Zoom）にて
開催しております。

12/7, 2/1



地域完結型 医療・連携の会 ～ WEB ライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日 19:15 ～

1/20, 3/17



今後も皆様のご意見をもとに改善を行ってまいりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

新型コロナウイルスワクチン 夜間集団接種終了



全国的にワクチン接種が進められる中、当院も医療機関の務めとして、小山市の夜間の集団接種を担当し11/29に最終回を終了いたしました。今後もコロナ診療を含め医療活動に全力を尽くしていきます。

12月には、院内職員への3回目の接種を開始いたします。今後も感染防止対策に努めていく所存です。



ドクターの紹介 10月採用の医師を紹介します。



眼科
部長心得
佐藤 彩

令和3年10月より、新小山市民病院 眼科に赴任いたしました佐藤 彩（さとう あや）と申します。

眼科疾患全般について伊野田医師と協力しながら、小山地区医師会のみなさまと連携させて頂きたいと思っております。

地域の皆様のお力になれるよう、丁寧で分かりやすい説明と患者様に寄り添った診療を心がけてまいります。至らぬ点多々あるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

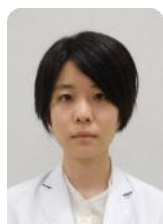


外科
副部長
伊藤 誉

令和3年10月より新小山市民病院に赴任しました外科の伊藤 誉（いとう ほまれ）と申します。福井県坂井市出身で、2002年に自治医科大学を卒業後、地元で9年間地域医療に従事した後に、自治医科大学消化器一般移植外科に入局しました。

入局後は主に大腸癌や炎症性腸疾患の外科治療（主に腹腔鏡手術）に従事してきました。大腸癌は増加の一途をたどっており、外科治療を必要とされる方も数多くいらっしゃいます。

小山地区医師会の先生方と連携を取りながら、個々の患者さんに応じた最適な治療を提案させて頂ければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。



糖尿病・
代謝内科
医員
加藤 夏果

令和3年10月より自治医科大学附属病院より新小山市民病院 糖尿病代謝内科に赴任いたしました加藤 夏果（かとう なつか）と申します。秋田大学医学部を卒業後、自治医科大学附属病院で初期臨床研修を修了し、同院の内分泌代謝科に入局しました。

半年間と短い派遣期間ではございますが、地域医療に少しでも貢献できますよう努めてまいります。小山地区医師会の先生方には、以前より主に糖尿病治療の継続依頼でお世話になっており、今後も依頼させていただくことが多いかと存じます。至らぬ点多々あるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器内科
医員
斎藤 瑞穂

令和3年10月から新小山市民病院に赴任致しました斎藤瑞穂（さいとう みずほ）と申します。獨協医科大学を卒業後、同院で初期研修を行い、昨年度から自治医科大学附属病院呼吸器内科に入局し勤務しておりました。

今回は半年間という短い期間にはなりますがこちらで勤務させていただきます。微力ながら地域の呼吸器診療に少しでも貢献できればと思います。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが何卒よろしくお願いいたします。



循環器内科
医員
森田 愛理

令和3年10月から循環器内科に着任しました森田 愛理（もりた えり）と申します。

栃木県内で高校まで過ごし、山形大学を卒業しました。その後、自治医科大学附属病院で初期研修を行い、同大学循環器内科に入局しました。小山地区の循環器診療に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



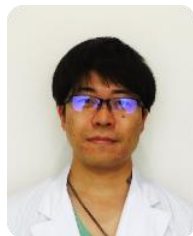
令和3年10月から新小山市市民病院形成外科に赴任致しました渡邊晶子(わたなべ あきこ)と申します。自治医科大学附属さいたま医療センターで初期研修を2年間行い、自治医科大学附属病院の形成外科へ入局しました。

形成外科
医員
渡邊 晶子

形成外科が扱う疾患としては皮膚の腫瘍や顔面骨折、眼瞼下垂など年齢問わず、幅広く診療しています。また、手術やケガによる傷が気になる患者様の紹介なども頂ければと思います。地域の皆様に寄り添った治療を心がけていますが、若輩者のため、至らぬ点が多数あるかと存じます。ご指導のほどよろしくお願い致します。



神経内科
医員
植木 千絵



耳鼻咽喉科
医員
五十嵐 丈之



救急科
医員
藤屋 奨眞

スペースの関係上、お名前のみで失礼致します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

時間外選定療養費についてのお知らせ

当院では、2021年12月1日(水)より、時間外(夜間・休日)に救急外来を受診された緊急性を認めない(いわゆる軽症の)患者さんに対して、時間外(夜間・休日)選定療養費を徴収することになりました。

時間外選定療養費金額： 6,600円(税込)

徴収開始日： 2021年12月1日(水) 17:00より

徴収対象時間：【平日】17:00～翌朝8:30
【休日】終日(土日祝・年末年始)

※詳細につきましては当院ホームページをご覧ください。



年末年始の診療について

12/29(水)～1/3(月)は外来診療(救急を除く)をお休みさせていただきます。来院される際には、お電話でお問い合わせ下さい。

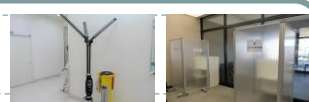
救急外来・休日夜間受付
0285-36-0290

ホームページリニューアル!

ホームページをより見やすく、分かりやすい構成やサイトデザインになるようリニューアルしました。



新型コロナウイルス感染症に対する当院の取組



当院では、新型コロナウイルス感染症が昨年1月に国内初確認され、2月に大型クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号での感染が確認された当初から、体制整備を進め様々な取り組みを行ってきました。これまでの取組をいくつかご紹介させていただきます。

診療に関して、2020年4月に当院で初めて新型コロナウイルス感染症に罹患した患者さんが入院し、以降感染状況に合わせ病床を増やすなど、院内体制を整え、第5波といわれる感染増加があった際も、多くの地域の患者さんを受け入れ、県南地区におけるコロナ患者に対応する第一線医療機関としての役割を果たしました。外来診察室や救急外来、病室の一部には簡易陰圧装置を設置。屋外には、新型コロナウイルス感染症の検査用コンテナを3台設置、また新型コロナウイルス感染症患者が入室した病室等の除菌のための紫外線照射装置を導入しました。正面玄関では専任の職員を配置、出入口を分け、検温・手指消毒の徹底をするなど、入院、外来診療ともに、一般の患者と新型コロナウイルス感染症患者は、絶対に接触することがないように動線を完全に分離し、職員の感染対策にも万全を期した結果、今まで院内感染はゼロを継続しております。

面会については、当初は「面会証」もしくは「付添証」の確認をし、検温、手指消毒を行っていただくといった取り組みから、段階的に面会制限を強化、最近では基本的に付添が必要な方や当院からの要請等が無い限り、ご家族でも面会をご遠慮いただき、その対応策としてWEB面会を開始、また洗濯物など荷物の受け渡しは、時間を制限したうえで、当院職員が預かり、持ち帰る荷物があればお渡しするという対応となっております。

また、小山地区医師会と協力し、ドライブスルー検査への職員派遣、小山市で実施しているワクチン接種への職員派遣並びに自施設でのワクチン接種対応、栃木県からの要請に伴うクラスター発生施設へのDMAT隊員派遣等を実施してまいりました。

今後も、患者さんやご家族が安心して診療をうけられ、また職員が安全に業務を行える環境を維持できるよう、このような取り組みを継続してまいります。

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

[https://www.facebook.com/shin.oya
ma.city.hospital](https://www.facebook.com/shin.oya
ma.city.hospital)

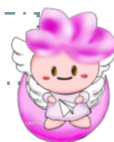
LINE 公式アカウント

右記 QR コードを
読み取ってください。

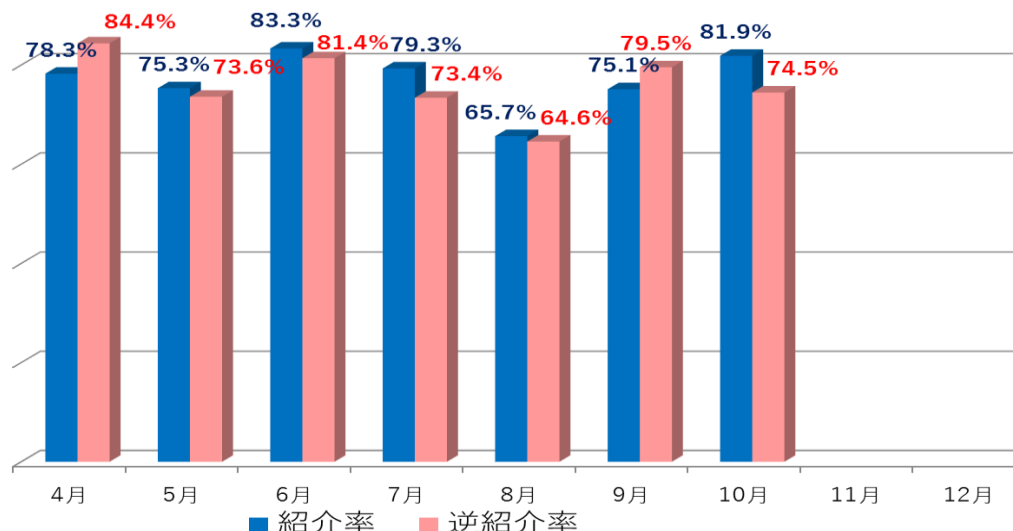
⇒⇒⇒



患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。
今後も信頼される中核病院として、逆紹介の推進に努めてまいります。



地域完結型医療・連携の会 & 小山市近郊地域医療連携協議会

令和3年度の地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーを昨年同様、WEBと
会場でのハイブリッドで行いました。

- 第32回医療・連携の会
- 日時 9月16日(木) 19:15~
 - 座長 田野副院長
 - 症例報告
消化器内科 腎臓内科
耳鼻咽喉科
 - 院外参加者
WEB 15名、会場 2名



- 第33回医療・連携の会
- 日時 11月18日(木) 19:15~
 - 座長 川上副院長
 - 症例報告
神経内科 形成外科
眼科
 - 院外参加者
WEB 14名、会場 3名



各領域における紹介患
者さんの症例報告後、
WEB参加者、会場参加
者による活発な意見交
換が行われました。

また、令和3年度小山市近郊地域量連携協議会の研修会と総会が、10月25日に行われました。この協議会は「小山市近郊地域における救急医療体制の整備や完結する医療提供体制の充実等を図ることを目的」として小山市近郊の15病院で構成されています。

研修会では、中島美津子先生（東京医療保健大学東が丘看護学部 看護学科/大学院看護学研究科教授）をお招きし、「医療機関の働き方改革」について講演頂きました。総会では、会員病院からの近況報告として、光南病院、星野病院、石橋総合病院、新小山市市民病院から各病院のコロナ対応について発表していただきました。



研修会

・参加者 81名
うちWEB 24名
会場 57名



総会

・参加者 50名